

# NEWS

## 愛産協業務継続計画の模擬訓練を実施

9月7日(水)午後2時から協会3階会議室において、災害廃棄物処理対策に関する特別委員会及び各支部で参加を要請した役員を含む20名の参加のもと、愛産協業務継続計画の模擬訓練が行われました。

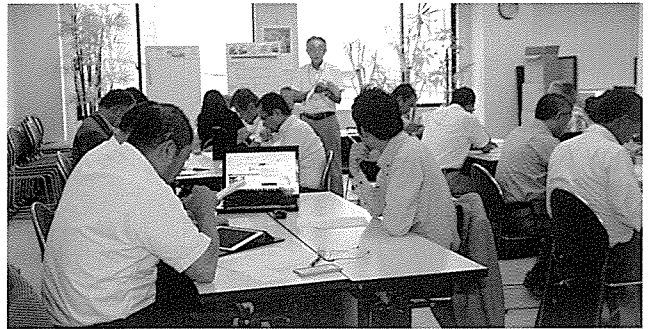
はじめに平沼辰雄委員長より、突然の災害時においては素早い対応が求められるため、この機会に協会を導入した(株)イーネットソリューションズのSafetylink24 緊急通報システム安否確認のPC、タブレット、スマートフォン、携帯電話による使い方を熟知してくださいと模擬訓練の重要性について話されました。

今回の訓練にあたり、愛産協と災害時における廃棄物処理の協力に関する協定を締結している県内全54市町村の担当窓口事前に訓練の概要と周知の協力要請を行い、また、訓練に備え事前訓練を実施し、メールアドレスの確認等を行いました。

また、事前訓練に備え、8月3日(水)に開催した第3回災害廃棄物処理対策に関する特別委員会各支部担当者に緊急通報システム安否確認の研修を行い、各支部内での操作説明と習得が連絡されていました。

模擬訓練に先立ち小坂元信事務局長から、緊急通報システム安否確認の訓練シナリオとタイムチャートの説明があり、訓練が開始されました。会議室の机の配置は災害時を想定し、本部、名古屋支部、尾張西支部、尾張北支部、尾張南支部、西三河支部、東三河支部とグループ分けして配置されました。本部は理事、協会職員らが待機、各支部は支部長及び各担当委員が待機されました。

訓練シナリオに沿って、まず初めに本部及び支部役員へ本人・家族・住居の被災状況、本部・支部への参集の可否について確認のメールを発信しました。89名の役員等に発信し、回答数が65で回答率は73.0%でした。



安否確認画面の操作

次に各支部から所轄市町村へ庁舎の罹災状況、職員の被災状況、市町村内の被害状況、支援要請の可否について確認のメールを発信しました。県内54市町村の内未回答は1市2町で51市町村から回答があり、回答率は94.4%でした。

次に各支部から支部内の災害時における協力会員へ本人・家族・住居の被災状況、設備の被災状況、災害復旧への人的協力可否、災害復旧への資機材協力可否等の確認メールを発信しました。349の会員に発信し、回答数が216で回答率は61.9%でした。

今回の模擬訓練において実践に即した機器操作の習得が目的でしたが、緊張感の中で参加者は緊急通報システム安否確認の習得ができたと思います。しかし、安否確認の回答率をみると全54市町村から回答が来るように、また、支部役員や協力会員の回答率が向上するよう支部役員と協力し未回答一つ一つの原因究明と未回答会員へのシステムの周知の必要性など、課題を共有できた訓練でした。

### ■出席者

本 部	平沼辰雄副会長、渡邊 修専務理事、梅村正裕常務理事、小坂元信事務局長、安藤 均参与
名古屋支部	新美三良支部長、永井弘児副支部長、熊澤修次委員
尾張西支部	新家義彦支部長、富田昭夫副支部長、伊藤智織委員
尾張北支部	中野兼司支部長
尾張南支部	金田英和支部長、都筑武満副支部長
西三河支部	近藤千雅支部長、梅谷岳志副支部長、丹羽庸介会計
東三河支部	松井忠博支部長、長崎正敏委員、伊藤良文会計